

あやとりでは、メンバーのスキルアップのため、積極的に研修に取り組んでいます。学習委員会を中心とした内部研修の他、個々に外部研修（左表）に参加し、定例会議でメンバーと共有しています。

ACT介護技術研修

2018年9月29日（土）あやとりデイサービスにて
《ベッド上での「起き上がり」》というテーマで介護技術研修を行いました。
講師に ACT 在宅介護研究会の大日向さんと内田さんにお越し頂き、13名のメンバーが参加しました。まずDVDを見てボディメカニクスを学び、その後二人一組になり、片麻痺を想定したベッド上での起き上がりと、床に倒れた人を立たせる実技研修を行いました。ケア手順の解説で理論的に再確認ができ、起き上げる時には頭や足の位置が大事である事など普段のケアの振り返りが出来ました。床に倒れた人が立つところまでのケアは力づくではなく、体の仕組みを考えて行うことを学びました。転倒した人には「気持ち悪くないですか？」など具体的な声掛けが必要であること、道で倒れている人がいたら他の人の力を借りることも大切等、多くのことを学びました。

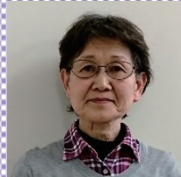


『人には一生のうち「助ける時期」と「助けられる時期」がある。』というお話がとても心に残りました。（メンバー感想より）

2018年度 メンバーが参加した外部研修

- ・介護職員が知っておきたい接遇・マナー
- ・介護保険制度改定についての課題
- ～混合介護・医療と介護の連携等～
- ・今どきの子育て世代を知る
- ・施設（訪問先）における認知症の問題行動と介護方法
- ・アサーショントレーニング
- ～分かり合えるコミュニケーションを目指して～
- ・障がい者差別解消法と行政への要望
- ・高次脳機能障害ワークショップでつくる実践プログラム～回復を促すために～
- ・精神障がいの理解と支援
- ・高齢者虐待防止研修
- ・たすけあいワーカーズってなあに？
(ACT 新人研修)
- ・急性期から生活期までのシームレスな連携を目指して
- ・高次脳機能障害「希望」に寄り添う

♪新メンバー紹介♪



柏原礼子さん

生活クラブの消費材に惹かれ組合員になって25年になります。50代中頃を過ぎ、お元気な方が通う高齢者の福祉施設や障がい者の施設での仕事を経験しました。地域協議会のニュースであやとりが「自分の老後に通いたいと思うデイサービスは・・・？」に共感し、仲間に入れて頂きました。どうぞよろしくお願いいたします。



並木純子さん

自分自身の子育ても少し落ち着き、社会復帰を考えている時に誘われてあやとりのメンバーになりました。実際に働いてみて、職員の方々が皆優しく仕事を教えて頂きとてもありがたく思っています。また、小さな子ども達と触れ合う事が出来るので、仕事に行く事が楽しみです。これからもよろしくお願いいたします。

編集後記

平成最後の広報紙が出来上がりました！
あと少しで平成も終わりますが、次の元号はなにになるのでしょうか？この30年色々なことがありました。皆様は何か一番記憶に残っていますか？
・・・やっぱり国民的アイドル“嵐”の活動休止のニュースでしょうか？
広報委員会一同

〒175-0083 板橋区徳丸 2-30-16
生活クラブ館徳丸 2階
E-mail : actayato@oak.ocn.ne.jp
TEL : 03-5922-3560
FAX : 03-5922-3561
HP : http://act-ayatori.com/

あたたかい善意に感謝します

私たちの活動にご賛同頂きまして誠に有難うございます。ここに申し上げます。これを励みにあやとり一同、一層頑張りたいと思います。

ご寄付

加藤利治様 今澤とも子様

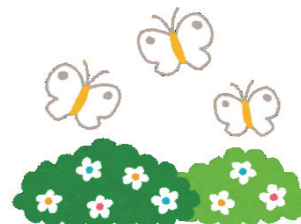
齋藤祥子様 匿名の方

その他介護用品等を頂きました。

有意義に使わせていただきます。



あやとり



発行日：2019年3月20日
編集・発行：NPO・ACT板橋
たすけあいワーカーズ
あやとり広報委員会
発行責任者：今澤てる子

おしゃべりカフェを開催しました！

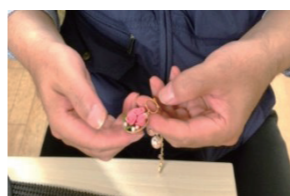
2018年9月8日（土）あやとりデイルームにて、
『ばらのチャームづくりと茶話会』を開催し、19名の参加がありました。講師にアクセサリー作家の守屋圭子さんをお迎えし、優しく丁寧なご指導の下にとっても素敵な作品が出来上がりました。
様々なパーツが用意されていて、好きな組み合わせを選び、普段あまり使うことのないニッパーやグルーガンなどを用いて世界に一つだけの手作りアクセサリーができました。その後、お抹茶とおいしい和菓子をいただきながら和やかな午後のひとときを過ごしました。地域の方々やメンバーのお知り合いにあやとりを知っていただく良い機会となりました。



ペンダントとチャームが選ばれました。



メンバーが点てたお抹茶で一服



制作風景

男性も3名参加されました。喜ぶ顔を思い浮かべながら...



こんなに素敵に出来上がりました！

あやとり地域委員会

あやとりでは教育実習の大学生、介護実技体験、地域の中学生の職場体験や大学ゼミのフィールド学習の受け入れ等、体験の場を提供しています。

あやとりのデイサービスで福祉施設実習を終えた教職課程の大学生（男性）さんが寄せて下さった感想を紹介しします。

今日は体験最終日だ。5日目ということで、スムーズに動けたと思う。この施設は、利用者一人ひとりに丁寧で、それぞれの事情や体調を考慮しながら支援している。だから利用者の人たちも満足そうで、とても良い環境だと思った。支援する側の対応次第で変わってくると思う。「介護のプロとして、利用者のことを第一に考えて行動することは最も必要なことだ」と学んだ。利用者さんたちは一日を集団で過ごすので、スタッフの対応が充実していると快適に過ごすことができる。介護はひとりではできないものだと考えさせられた。誰かと一緒に支援することで、介護する側も、される側も快適に過ごせると思った。そのための社会福祉施設だと思う。



多くの学生さんが、実習最後の日にお別れのアクションを披露してくれました。

この経験をどう生かしていくか？生徒に「福祉」といっても分からないと思う。自分もそうだった。けれども自身の親や祖父母が年をとるにつれて必ず支援が必要になる。一度きりの人生を私たちはどうやって過ごしていくか。「歩けなくなったり、動けなくなったり、話せなくなったり」といっても人間の尊厳が失われるわけでは無い。助け合って支援していく介護には、幸せな一生を過ごす、尊厳を大切にするという意味や役割もある事に気づけて良かった。今回の体験を今後の人生に活かして幅広い視野から人と関わっていきたいと思いました。



利用者さんの似顔絵。とても良く特徴をつかんでいます。



“ありがとうございます”で書かれた感謝



2月は、デイサービスでお雛さまを作って持ち帰りました。中には玄米とポップリが入っています。



デイサービスの利用者さんが作ったお雛さま

メンバーのお子さんが桜川中学校に通っていたご縁で、板橋区立桜川中学校 1年生の職場体験の受け入れが始まりました。保育や介護の仕事に興味を持ち職場体験にやってきました。去年の3月までランドセルを背負っていたお子さんが中学生になり、朝の9時から夕方4時までの3日間、本当によく頑張りました。

桜川中学校の職場体験(おやこ舎・デイサービス)

3日間の中で、子ども達がママから離れる時に泣いてしまうことが心に残りました。又、小さい子と遊ぶ時も貴重な体験になりました。

3歳くらいの子供たちは、よく話しかけてくれて、遊びに誘ってくれました。一緒に遊ぶことで仕事の喜びや、やりがいを感じることができました。

できあがった職場新聞と、丁寧なお手紙が送られてきました。

おやこ舎

デイサービス

じゃんけん ぼいぼい♪

元 ACT 理事で、こども福祉研究所の理事長※の東洋大学社会学部森田明美教授のゼミのフィールドワーク学習の学生も毎年おやこ舎に保育体験に来ています。2年連続で来てくれる学生も多くいます。子ども達のパパやママと年の近い学生に、子ども達はあつという間に懐きます。学生にはその日気づいた事、感じた事を活動記録表に残してもらっています。※森田教授は、岩手県山田町で被災地の子どもたちのための学習室“山田町ゾンタハウス”を運営されています。

2歳の子がこんなに色々なことを知っているのだと驚きました。

2回目に会った子どもが、とても懐いてくれて嬉しかった。

食事の補助が難しかった。

東洋大学フィールド学習(おやこ舎)

一年ぶりで緊張しましたが、元気に走り回る子どもを見て、自分も負わず積極的に関わられたらと思いました。

泣いている子の対応や、散歩中、常に子どもたちに気を配るのが難しかった。抱っこをせがむ子がいて楽しく過ごせました。

子どもたちと関わることでたくさんのが学べました。

皆と仲良く遊べて楽しかった、来年もぜひまた来たいです！

靴下を履かせることや、オムツ替えを嫌がる子に履かせるのが難しかった。

